

起業を志した時に考えた「いちばん大事なこと」を何度も何度も思い返すことが大切

魂 起業家

吉田悦蔵邸

代表 吉田鮎美さん
よしだ あゆみ

近江八幡市にある吉田悦蔵邸は、建築家であり事業家、伝道者として知られるウィリアム・メレル・ヴォーリズが設計した3棟の住宅で構成される池田町洋風住宅街（ヴォーリズ建築群）の一つで、県指定の有形文化財。

四代にわたり受け継がれてきた吉田邸は、いま曾孫となる吉田鮎美さんが始めた事業で新たな歴史が刻まれようとしている。

曾祖父の吉田悦蔵自身も設計者の一人

吉田悦蔵邸について

1913（大正2）年にヴォーリス合名会社の設計により建設されたものです。吉田悦蔵は、ヴォーリズが英語教師として着任した商業学校での最初の教え子で、ヴォーリス合名会社の創設メンバーの一人です。本館建物は木造3階建ての腰折れ屋根のダッチコロニアル様式で、洋館に和室を組み込み、米国製建具と金具を多用するなどヴォーリズ建築の特色がよく出ています。

また。祖父、祖母もしばらくここで暮らしていましたが、二人が亡くなってからは父が管理をしていました。2020年、私の結婚を機に奥の旧女中室を改装して夫婦で住んでいます。

吉田邸への愛着と興味が「私が屋敷を守っていい」と決心させた

起業のきっかけと、産業支援プラザとの関わりは？

大学生の頃から、ここに住んで何かをしようとは決めていましたが、具体的な構想はありませんでした。起業を決心したきっかけはいくつかあります。

まず一つめは、親族の中でこの屋敷に興味を持つ人がなく、このままでは吉田家の手から離れていくという危機感です。結局小さい頃から愛着と興味を持っていた私が「この家を守っていい」と決心しました。大学

で就職活動をしていた頃です。父親の願いでもありました。

吉田邸の保存・活用について具体的な構想も自信もなかった私は、その準備として卒業後イタリアに渡り独学で建築などを学びました。帰国後は建築とインテリアの専門学校に通い、修了後は建築関係のデザイン事務所や家屋さんに勤めました。

二つめは、結婚でここに住み始めたこと。

そして三つめが東近江市商工会主催の「女性のための創業塾」に入塾したことです。創業のための基礎的な勉強をしていく中で漠然としていた起業というものが現実的になり、何より意欲に燃えた沢山の参加者の方々の存在が面白い意味での焦りとなり、エンジンがかかりました。

また、ここで産業支援プラザを知り、「起業準備応援補助金」に応募、採択されました。この事業の特徴は、伴走支援者とペアになって取り組むことです。私は東近江市商工会の方に伴走者になってもらい、さまざまなアドバイスをいただきました。

ここを「人々を魅了するところ」にしたい

吉田邸での事業内容は？ 苦労することは？

現在は、学びの場、写真撮影スタジオ、ギャラリーです。現在、学びの場として行っている事業は、私が邸内を案内しながら、吉田家や吉田邸の歴史、建物の細部や家具調度品などの紹介・説明です。少人数・予約制で実施しています。今後は講演会やワークショップ等の会場と

しての展開を考えています。

写真撮影スタジオは、和室洋室そして茶室もあるので様々なシーンでの撮影ができ、スタジオとしてのポテンシャルは高いと思っています。利用されたカメラマンの方も大変感動されていました。

ギャラリーは今後メインで取り組んでいきたい事業です。私はここを「魅せる場所」つまり人々を魅了するところをしたい。

それには展示ギャラリーが一番だと思っています。私のセンスで選んだ作品とこの建物を掛け合わせることで相乗効果が生まれると考えるからです。

苦勞というか、課題は貴重な物品、備品、家具などの利用と保存をうまくコントロールすることです。調度品23点も文化財なので如何にして傷つけないように、壊れないようにしていくかがかなり難しいところです。

様々な人と出会って可能性を広げ、少しずつ新しい事業を増やしていきたい

今後の展望は？ 起業を目指す方に向けてひと言

今は学びの場・写真撮影スタジオ・ギャラリーの三つの事業を行っていますが、今後はもう少し幅を広げたい。これだけしかないと思わずにやっていこうと思っています。しかし、

多いと運営が難しいので、まずは色々な方と出会って可能性を広げながら、新しい事業を増やしていこうと考えています。

実は、自分の結婚式はここで挙げました。結婚式場としての活用も考えていたのでその事例にもなるし、スタジオが前撮りに使ってもらえる可能性もあるなと思って。それと、先ほどのギャラリー事業を充実発展させていきたいと思っています。なんとなく来られる所ではないからこそ、ここを目指して来てくださった方にはゆっくりと過ごしながら特別感を味わって帰っていただきたいと思っています。

起業を目指す方に必要なことは、その事業で何を一番大切にしたいか、何が一番大事かをしっかりと自覚することです。そして事業を始めてからも繰り返すことが大切だと思います。

※1 女性のための創業塾

創業に興味がある方、近々独立開業を考えている方のための創業スクール。特に小さなお店の開き方に的を絞り、創業に必要な基礎知識やネットの利用などのノウハウを6日間学びます。

※2 起業準備応援補助金

県内の起業準備者や起業して間もない立ち上げ段階の方が、支援機関担当者の伴走支援を受けながら行う「事業化・市場化の道筋をつけるために必要な取組」に対して30万円を上限に補助金を交付するものです。令和3年度は、ポストコロナ社会に相応しい起業を支援するため、別枠が設けられました。

問い合わせ先

（公財）滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援課

☎ 077-511-1412

☎ 077-511-1418

✉ in@shigaplaza.or.jp



吉田悦蔵邸全景